

埼玉県学力・学習状況調査（中学校）

# 復習シート 第三学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

【文脈に即して正しい漢字を選ぶ問題】

1 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の文の \_\_\_\_\_ 線部の熟語を漢字で書く場合、正しいものを ( ) の中からそれぞれ一つ選び、記号に○をつけなさい。

レベル9

- ① 責任をツイキユウする。 (ア 追求 イ 追及 ウ 追究 エ 追給)
- ② 借金をセイサンする。 (ア 生産 イ 精算 ウ 清算 エ 成算)

(2) 次の文の熟語を漢字で書く場合、 \_\_\_\_\_ 線部と同じ漢字を含む熟語を ( ) の中からそれぞれ一つ選び、記号に○をつけなさい

レベル7

- ① 館内に異ジョウはない。 (ア 常態 イ 賞状 ウ 苦情 エ 丈夫)
- ② 辛抱がカン要だ。 (ア 勘案 イ 勸奨 ウ 肝臓 エ 歓喜)

【品詞の理解を問う問題】

2 次の各問いに答えなさい。

レベル12

(1) 次の文の中から用言を一つ選び、 ( ) に○をつけなさい。

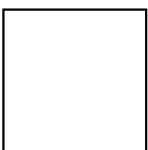
大きな \_\_\_\_\_ 雲 \_\_\_\_\_ が \_\_\_\_\_ 南 \_\_\_\_\_ へ \_\_\_\_\_ 流れる。

(2) 次の文の \_\_\_\_\_ 線部と、同じ品詞をア～オから選び、その記号を書きなさい。

レベル9

彼は、決してあきらめない。

- ア それは、おかしな話だ。
- イ もし、雨が降ったら試合は中止だ。
- ウ 彼は、あらゆる問題を解決した。
- エ 高い山に登る。
- オ あの家が僕の家です。



# 復習シート 第三学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

## 【話すこと・聞くこと】を問う問題】

- 1 北中学校のAさん・Bさんのクラスでは、国語の授業で、「これからの社会で私たちに求められる力」というテーマでスピーチを行いました。次の【Aさんのスピーチ】【Bさんのスピーチ】を読んで、あとの問いに答えなさい。

### 【Aさんのスピーチ】

私は、柔軟に考え、相手を受け入れる力が求められると思います。私たちがこれから歩んでいく社会は、身近な人はもちろん、海外に住む人も協力して、様々なことに取り組む必要があると思います。

今年度北中学校で行った文化祭では、交流のあるアメリカの学校と協力して出し物をするという生徒会企画がありました。まず、アメリカの学校とオンラインで交流し、アメリカの学校ではどんなイベントが行われているのかを教えてくださいました。その中で、私たちは、仮装をして行うイベントについて興味をもちました。もともと文化祭の出し物として、模擬店を出す予定でしたが、アメリカのイベントをヒントに、店員が仮装をしたお店を出すことにしました。当日は大盛況で、多くの人に喜んでもらったのがとても嬉しかったです。

このように、多くの意見を受け入れ、自分の意見と組み合わせることによって新しい考えが生まれることもあると思うので、私はこれからの社会で私たちに求められる力は、柔軟に考え、相手を受け入れる力だと思いました。

### 【Bさんのスピーチ】

みなさんはこれからのどのような社会になっていくと思いますか。私は、学校の授業で人工知能について勉強し、私たちの身近なところに人工知能があることを知りました。そこで、人工知能が、私たちの生活に及ぼす影響について、図書館にある資料を読んだり、インターネットで調べたりして得た情報の一部を紹介したいと思います。

人工知能について調べてみると、人工知能は多くのデータを解析して分析に役立てたり、過去のデータから未来を予測したりする作業が得意だということがわかりました。それを生かして、蓄積された顧客や市場のデータを解析し、その結果を企業戦略やマーケティングで役立てているという企業がありました。しかし、実際に接客をし、コミュニケーションを取るのは人間の方が得意だということもわかりました。それぞれ得意な分野と不得意な分野があるので、それを判断し分担することができれば、もっと生活しやすくなるのではないかと考えました。

以上のことから、私が考えるこれからの社会で私たちに求められる力は、コミュニケーション能力と物事を判断する力だと考えました。

(1) 【Aさんのスピーチ】【Bさんのスピーチ】で取り上げている内容について、最も適切なものを次の1～5から一つずつ選び、その番号を書きなさい。  
レベル10

- 1 学校生活の中で実際に体験したこと。
- 2 地域の方へのアンケートでわかったこと。
- 3 家族や友達へのインタビューでわかったこと。
- 4 テーマについてクラスで話し合ったこと。
- 5 図書館やインターネットなどを利用して調べたこと。

Bさん

Aさん

(2) 【Aさんのスピーチ】【Bさんのスピーチ】における話し方の特徴を説明したものと  
して、最も適切なものを次の1～4から一つ選び、その番号を書きなさい。  
レベル9

- 1 聞き手が関心をもてるように、Aさんは社会の問題点を挙げながら話し、Bさんは聞き手への問いかけや呼びかけを用いて話している。
- 2 話に共感してもらえるように、Aさんは印象に残った言葉を引用して話し、Bさんは自分の伝えたい言葉を繰り返し話している。
- 3 聞き手が理解しやすいように、Aさんは最初に自分の考えを示した上で話し、Bさんは自分の考えについて具体的な事例を用いて話している。
- 4 話に説得力をもたせるために、Aさんは反論に対する意見を取り入れて話し、Bさんは考えの根拠となる数値を示して話している。



# 復習シート 第三学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

## 【「書くこと」を問う問題】

1 次の \_\_\_\_\_ 線部の「気が沈んだ」を、「残念な気持ち」が伝わるように書きかえなさい。ただし、「悲しい」「沈む」という言葉は使わないこと。

レベル10

桜の花びら舞う四月。  
壁に貼ってある名前の一覧表を、何度も確認した。間違いない。  
気が沈んだ。  
あれほど期待していたのに、あの子と同じクラスになれなかったのだ。

2 次の \_\_\_\_\_ 線部の「気が気でない」を、「落ち着かない気持ち」が伝わるように書きかえなさい。ただし、「落ち着き」という言葉は使わないこと。

レベル10

合格発表の日。  
その日は朝から、家の空気がいつもと違った。結果は郵送されてくる。  
今にも郵便配達が来るのではないかと、気が気でない様子で何度も窓の外をうかがった。

# 復習シート 第三学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

1 「読むこと」を問う問題  
 次の資料を読んで後の問いに答えなさい。

**コバトン学園高等学校 令和6年度入試生徒募集要項**

**1. 出願資格**

(1) 推薦入試  
 次の①～④をすべて満たしている者。  
 ①本校を第一志望とし、合格の際は入学を確約できる者。  
 ②令和6年3月に中学校卒業見込みの者。  
 ③3年2学期の9教科の5段階の評定の合計が40以上であり、かつ「2」以下がない者。  
 ④3年次の欠席日数が10日以内であること。※3年次12月までを資格算定基準とする。

(2) 一般入試  
 ・令和6年3月中学校卒業見込みの者、及び中学校を卒業した者。

**2. 募集定員**  
 普通科 Aコース 50名/Bコース 70名/スポーツコース 30名

**3. 入試日、必要書類**

受験区分	入試日	必要書類
推薦入試 (すべてのコース)	令和6年1月22日(月)	①受験票書 ②推薦書 ③調査書 ④志望理由書
一般入試	第1回 すべてのコース 令和6年1月22日(月)	①受験票書 ②調査書
	第2回 A・Bコース 令和6年1月23日(火)	
	第3回 A・Bコース 令和6年1月24日(水)	
	※受験票書・推薦書・志望理由書については、本校所定の書式を使用してください。 ※ただし、インターネット出願の場合は、受験票書は不要です。	

**4. 出願期間**  
 令和6年1月5日(金)～1月12日(金)  
 ※インターネットは12日12時まで、郵送の場合は消印有効。

**5. 出願方法**

[1] インターネットによる出願  
 ①事前に、正面から撮影した顔写真データ(3か月以内に撮影したもの)を用意しておいてください。  
 ②必要事項を入力し、写真データをアップロードしてください。  
 ③受験料はクレジットカード、コンビニエンスストアどちらかで支払いをしてください。  
 ④調査書、推薦書、志望理由書については、受験当日に持参してください。

(2) 郵送による出願  
 ①受験票書の所定の位置に、顔写真(3か月以内に撮影したもの)、受験料の振り込み領収書、63円切手を貼り付けてください。  
 ② ①とともに、調査書、推薦書、志望理由書を市販の角形2号封筒に入れて、簡易書留で発送してください。  
 ※複数回受験の場合でも、調査書は1枚で構いません。  
 ※推薦書、志望理由書については A のみ志望の場合は不要です。

**6. 受験料**  
 1回受験 20,000円 2回受験 25,000円 3回受験 30,000円  
 ※インターネット出願の場合はクレジットカードで、郵送出願の場合は願書に添付されている振込用紙でお支払いください。  
 ※一旦納入された受験料は、理由の如何に関わらず返金しません。

**7. 試験日程**

試験科目	時間
受付	8:15～8:45
諸注意	8:45～9:00
国語	9:00～9:50
数学	10:00～10:50
英語	11:00～11:50
昼食	12:00～13:00
面接	13:10～14:30
実技 (スポーツコースのみ)	14:45～15:30

※調査書、学力試験、面接、実技の総合判定で合否を決定します。

**8. 持ち物**

出願方法	持ち物
インターネット出願	写真票(印刷する)、調査書、推薦書※、志望理由書※、筆記用具、昼食、運動できる服装・シューズ(スポーツコースのみ)
郵送出願	写真票(返送されたもの)、筆記用具、昼食、運動できる服装・シューズ(スポーツコースのみ)

※印は推薦入試のみ

(1)

A

に当てはまる言葉を、資料の中から書き抜きなさい。

レベル10

(2) この資料の解釈として正しくないものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

レベル9

- ア. 三年生の二学期に九教科の評定の合計が四十以上でも、体育の評定が二の場合には、推薦入試の出願資格はない。
- イ. Aコースを志望している生徒は、最大で四回受験することができる。
- ウ. 推薦入試と一般入試を一回ずつ受ける生徒が出願するためには、二万五千円を振り込む必要がある。
- エ. スポーツコース受験者は、午前中に教科の試験を三科目受け、午後面接と実技試験を受けることになる。

(3) この資料の構成について説明したものと最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい

レベル10

- ア. 複数の情報を、表を用いて整理することによって、読み手が一目見て情報を把握できるようにしている。
- イ. 重要な情報については太字にしたり、下線を引いたりして、読み手の印象に残りやすいようにしている。
- ウ. 図を用いて、出願方法をわかりやすく説明することで、読み手が必要な情報を理解しやすくしている。
- エ. 冒頭に全体の目次を示すことで、どこに必要な情報があるか、読み手が探しやすくしている。

